

100人アンケート 第6回「電子マネー」

実施期間 2012年2月22日～2012年2月29日

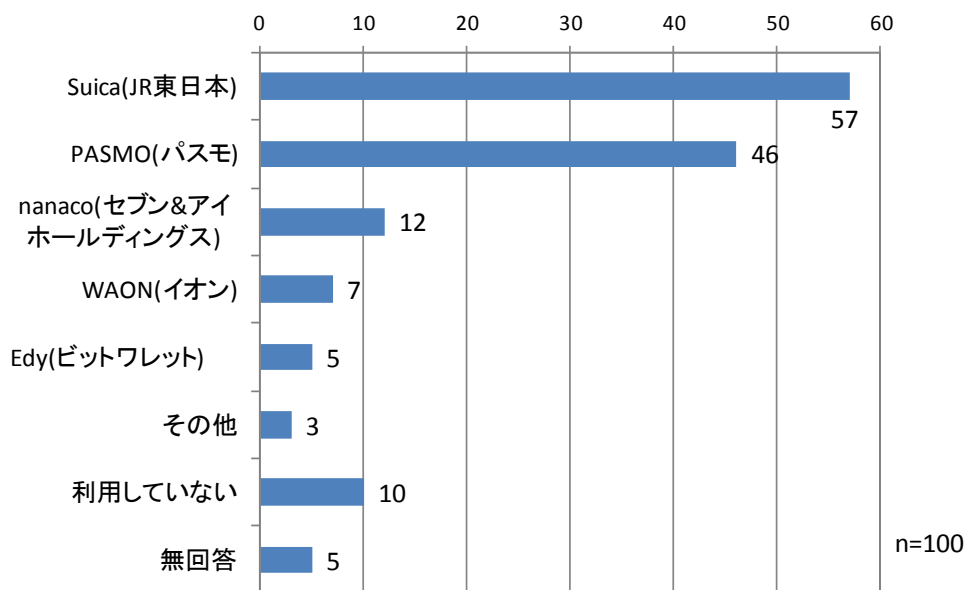
配布数 100

回答数 95

回答率 95.0%

電子マネーは、現金やクレジットカードを使わずに、磁気やICカードの電子データを利用した決済方法です。

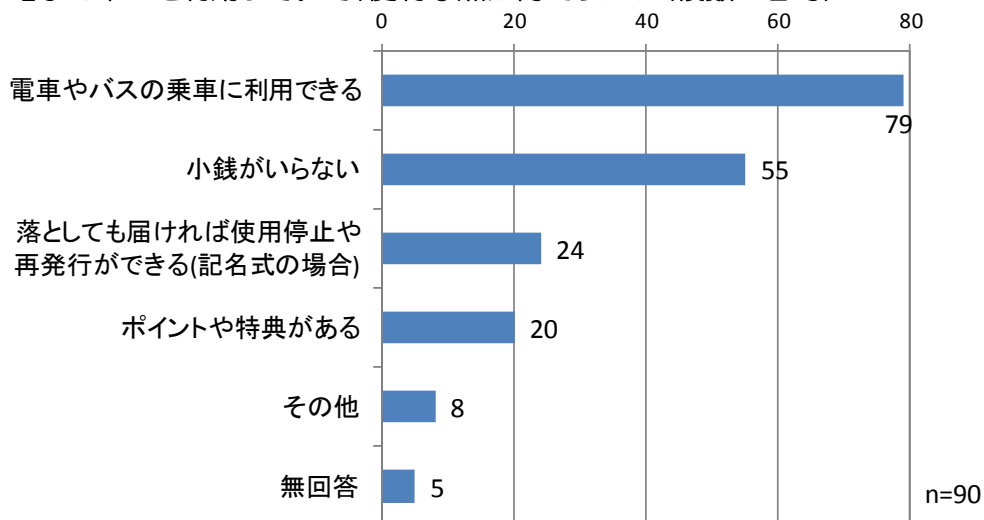
Q1. あなたは電子マネーを利用していますか？(複数回答可)



【その他】 ビットキャッシュ・オフラインデビット(J-debit)・ピドル

Q2. 電子マネーを利用している方にうかがいます。

電子マネーを利用して、便利な点は何ですか？(複数回答可)

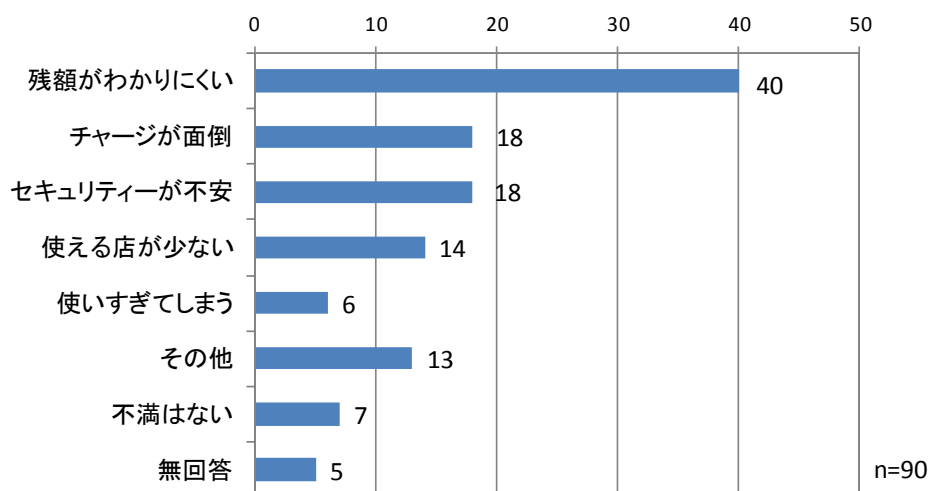


【その他回答より】

- 券売機で乗車券を購入する手間が省ける。
- 時間短縮
- お財布を忘れた時、カードで必要なものを買うことができた。
- 定期券が使い捨てでなく繰り返し使える。

Q3. 電子マネーを利用している方にうかがいます。

電子マネーを利用して、不満な点は何ですか？（複数回答可）



【その他回答より】

- プリペイド型であり、当初の支出が大きい。プリペイドであるのに消費者に対するキャッシュバックが少ない。金利なしで消費者から資金を集めていると言えなくもない。
- ポイントを利用したところ、手数料を取られてビックリした。入会するときには説明がなかった。
- 子供が切符の買い方がわからない
- 交通費にどれだけお金がかかっているか鈍感になってしまう
- 二度タッチして2倍支払っても分からないとか、入る時のタッチが上手くいかなくて出る時に困ったことがある。
- チャージに失効期限がある(ピダル)
- 種類が多すぎる、互換性があると良い
- 使用用途の記録量がごくわずかしか出来ない

【まとめ】

電子マネーは、私たちの生活で身近なものになっていて、今回のアンケートにおいても、85%が利用していると回答しています。利用している種類は、SuiCa・PASMO が多く、「電車やバスなどの乗車に利用できる」「小銭がいない」という声の一方、「残額がわかりにくい」「チャージが面倒」「セキュリティが不安」という意見が多く見られました。

紛失時に無断使用されたり、利用履歴が第三者に漏れて悪用される危険性もあることを認識しておく必要があります。また、実際に金銭をやり取りする感覚が乏しくなるため、「使いすぎてしまう」という声も寄せられています。

電子マネーには、無記名のもの以外に、定期券と併用するなど記名して利用する方式や、クレジットカードを登録して自動的にチャージされる方式のものもあります。これらは紛失時に手続きをすれば再発行をすることができます。

カードを使い捨てることなく繰り返しチャージができたり、紙のカードやクーポン券が不要になるという点では、電子マネーは環境にやさしいシステムとも言えますが、管理に気をつけて使うことが必要です。

※「電子マネー」についてのご意見から

- PASMO はプリペイドカードのようなもので、テレフォンカードのような割引みtainなサービスが提供されても良いのでは期待しています。リスク分散の上から、携帯財布を利用することは、当面考えていません。
- オートチャージを利用しているとお金をいくら使ったかわからなくなり請求額にビックリした。クレジットカードならレシートがありいくら使ったか計算出来るが、交通費などはレシートもなく特に不透明。
- 現金ではない「お金」が増えていて経済の形が昔とはずいぶん異なっていると感じています。実際には、物は動いていないのに、業者の手元にお金が集まっている事への違和感が常にあります。が、便利さと、ベネフィットにつられて使っています。
- セキュリティに関しての心配はありますが、自動チャージおさいふ携帯機能を使っています。財布を持ち忘れたり、現金の持ち合わせが無い時、日々の買い物や電車の乗り降りは本当に便利です。
- パスモのオートチャージ設定をしています。が、便利な一方、の紛失後悪用されたら、と怖い思いです。暗証番号をいれると現金なしで券売機であってもいいかと思ひます。チャージできる、などのひと手間があってもいいかと思ひます。
- 自動販売機などでの電子マネーの利用は、小銭を出さずに済むなど利便性が高いので非常に良いと思ひます。また、ネットの通販などでは、クレジットカードの番号を登録することにためられるようなケースでは、電子マネーでの決済は安心感も高い。ただし、高額なものの決済には向かないので、使い方には自身で工夫が必要かと思われる。